

おかかえ地蔵

赤いマントをまとったおかかえ地蔵は、1650年に作られたと言われています。古くから、日本人は赤い色が悪を防ぐと信じてきました。

地元の伝説によると、願い事をしながら像を手にとって持ち、想像した以上に軽く感じれば、願いが叶うそうです。地蔵を手にとって抱く機会はめったにないので、竹原ならではの体験です。

地蔵は子供や旅行者の仏教の守護神です。地蔵の主な役割は、子供たち、亡くなった子供たちの魂、そして生まれていない赤ちゃんを守ることです。地蔵は、旅する者を保護するために道端によく見られます。

おかかえ地蔵は、2017年に改装された小さな小屋にあります。歴史地区のメインストリートのすぐそばの狭い路地を下った小さな丘の上です。